

市展

第21回亀山市美術展目録

会 期 令和8年3月9日(月)～3月15日(日)
午前10時～午後5時（最終日は午後3時まで）

会 場 亀山市文化会館大ホールロビー
亀山市中央コミュニティセンター

主 催 亀山市
後 援 亀山市芸術文化協会、公益財団法人 岡田文化財団、
公益財団法人 亀山市地域社会振興会

目次

○入賞作品紹介・審査評

絵画 1

写真 3

書 5

彫刻・工芸 7

○特別出展 9

○いが・こうか・かめやま 美術展交流作品 10

○出展作品一覧 12

○第21回亀山市美術展について 16

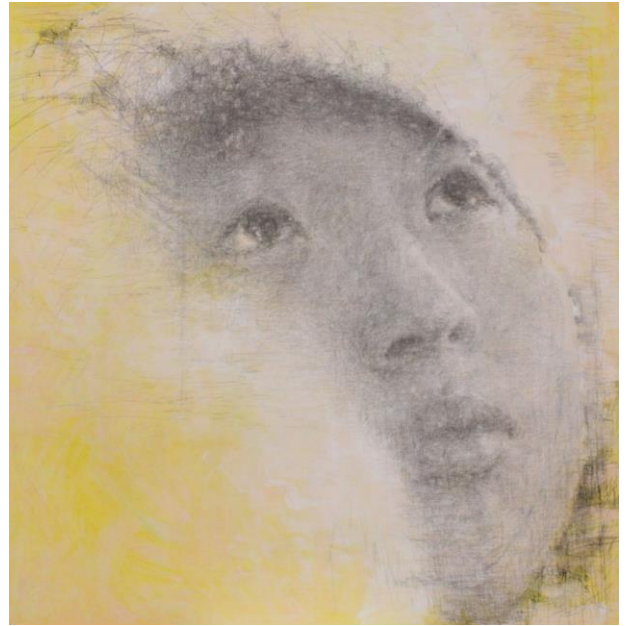
○入賞作品紹介・審査評

絵画



市長賞

「牡丹に蝶、長谷寺の晩春」森田 学



議長賞

「夜明けの星」近澤 さとみ



教育長賞

「秋・燃ゆる」小池 勇

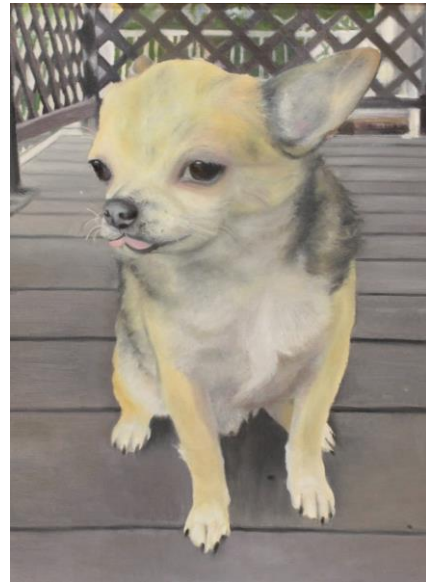


芸術文化協会会長賞

「亀山の暮」田崎 諄



地域社会振興会賞
「岩礁」中西 勝



岡田文化財団賞
「もなか」椎原 楓

審査評

出品作品は全体的に魅力のある作品ばかりで、賞を選ぶにあたって審査員の意見が分かれました。いろいろなジャンルに挑戦されていて、亀山の皆さんのエネルギーが感じられ、審査をしても心うきうきするものがありました。ぜひ、この創作心を持ち続けていただき、来年も作品を出品していただけることを期待しております。

市長賞の「牡丹に蝶、長谷寺の晩春」は、タイトルの示す通り、それぞれの対象物を的確な描写力と構成力を生かして表現されています。さらに、今後の作品作りに期待します。

議長賞の「夜明けの星」は、モダンで確かなテクニックを生かして、人物への愛情がとてもうまく表現されています。

教育長賞の「秋・燃ゆる」は、力強い息吹を感じます。もみじの変化が欲しい所。

芸術文化協会会長賞の「亀山の暮」は、夕暮の青が深く美しい秀作です。山際の光がもう少し強く表現できていれば。

地域社会振興会賞の「岩礁」は、岩にぶつかる波の力強さを感じます。もう少し激しく飛沫があれば。

岡田文化財団賞の「もなか」は、かわいいペットへの愛情が感じられる作品です。

絵画部門審査員 岡林 まち子 小林 正英 山崎 和夫

写真



市長賞
「ひととき」西村 幸子



議長賞
「水芭蕉の咲くころ」滝本 麻須美



教育長賞
「激闘」山川 充子



芸術文化協会会長賞
「春を待つ」伊藤 隆彦



地域社会振興会賞

「楽しい一日の始まり」井上 英勝



岡田文化財団賞

「出番間近」河原田 誠教

審査評

技術が高い写真や表現内容がユニークな作品が揃い、本展のレベルの高さを感じました。どの作品が入賞してもおかしくない中、少しでも心が動かされる度合いが高いものを上位の賞として選びました。現代はプリントで写真を見る機会が減っていますが、紙による展示で伝える表現にチャレンジする方が増えることを願っております。

市長賞の「ひととき」は、おじいちゃんに抱かれた幼子を見つめている笑顔の巫女とおじいちゃんが印象的な暖かい何とも言えない雰囲気伝わってくる良い作品です。

議長賞の「水芭蕉の咲くころ」は、暗がりの中で湖面に咲く花を照らす光が印象的。

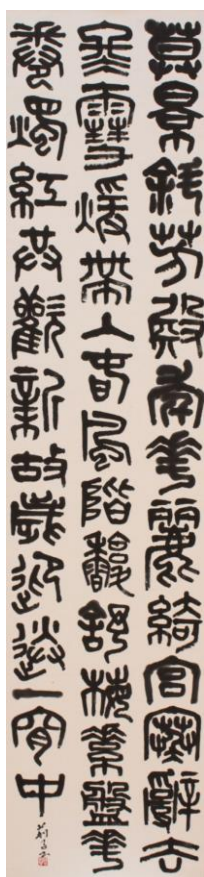
教育長賞の「激闘」は、投げている人の表情と水飛沫、人の影の構成がいい。

芸術文化協会会長賞の「春を待つ」は、二羽のメジロの表情が良く撮れています。

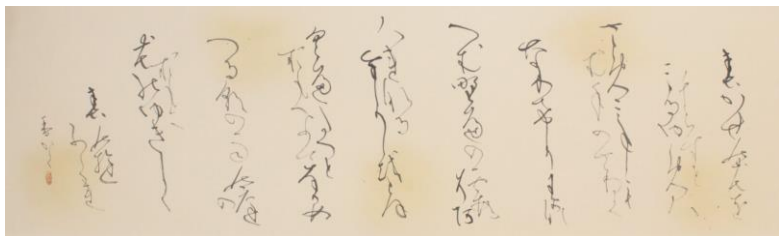
地域社会振興会賞の「楽しい一日の始まり」は、兄妹でしょうか。2人の表情がいい。

岡田文化財団賞の「出番間近」は、緊張感と、それをほぐすような周りの方のやわらかな雰囲気の対比がよく表された作品です。

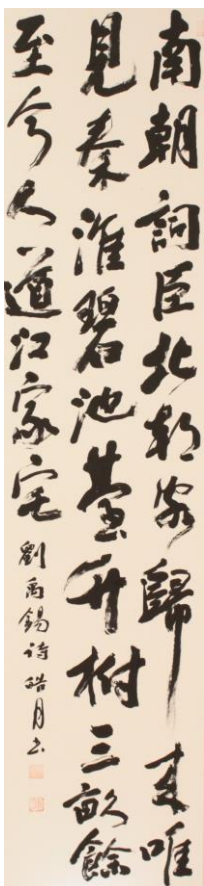
写真部門審査員 内山 修 木村 一成 小松 稔



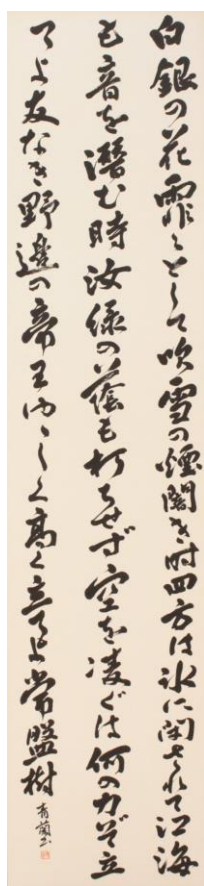
市長賞 「李世民詩」 濱口 莉子



議長賞 「春風の」 田中 かおる

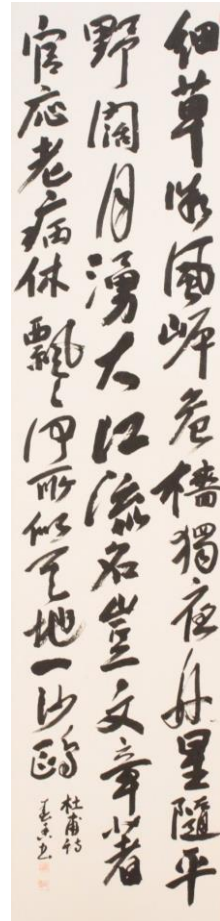


教育長賞 「劉禹錫詩」 蔦 皓月

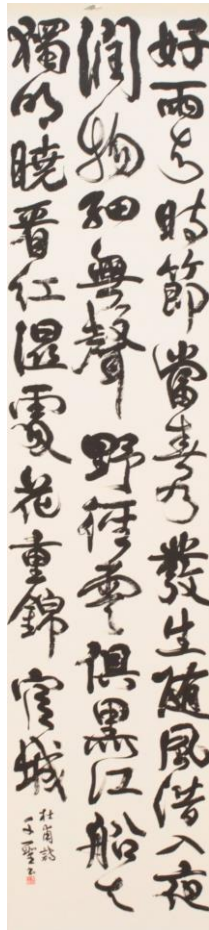


芸術文化協会会長賞 「島崎藤村の詩」 山本 青蘭

岡田文化財団賞「杜甫詩」 森本 春香



地域社会振興会賞「杜甫詩」 黒宮 千聖



審査評

数点の出品増となりました。今回初めて篆書体の作品が出展されたことが喜ばしいことです。そのことで作品の書域が広がり審査する側としても楽しく拝見できました。漢字には楷、行、草、隸、篆の五体があり、又仮名、調和体の幾つもの種目がありますが自分は何をしたいのか何が書きたいのかを明確にすることが大切です。出品者の皆さんも書く事も大事、又学問として学ぶことも大事。幅広い書学習をしていただければ更に飛躍します。

市長賞の「李世民詩」は、金文体の作品として制作された素晴らしい作品です。文字の正誤がないようにされた事、配置、全体構成とよくまとめられました。後は一文字、一文字に生き生きとしたものが出せれば上質の作品となります。

議長賞の「春風の」は、文字群と余白のバランスが良く行の流れが美しい。

教育長賞の「劉禹錫詩」は、力強い重厚な線質で、落款までよくまとまった作品です。

芸術文化協会会長賞の「島崎藤村の詩」は、行の広狭の変化が美しく、行間の明るい作品です。

地域社会振興会賞の「杜甫詩」は、康有為の書風をベースに技法も正しく明快な作品。

岡田文化財団賞の「杜甫詩」は、線の強弱を生かし、黒をうまく随所に配置した、流れのある良い作品です。

書部門審査員

伊藤 南邨

永平 巳旺子

樋口 鈴峰

彫刻・工芸



市長賞

「あなころのたからもの」梅村 美奈子



議長賞

「能面 小癪見」高知 利壽



教育長賞

「潤いするとき」廣森 ちな子

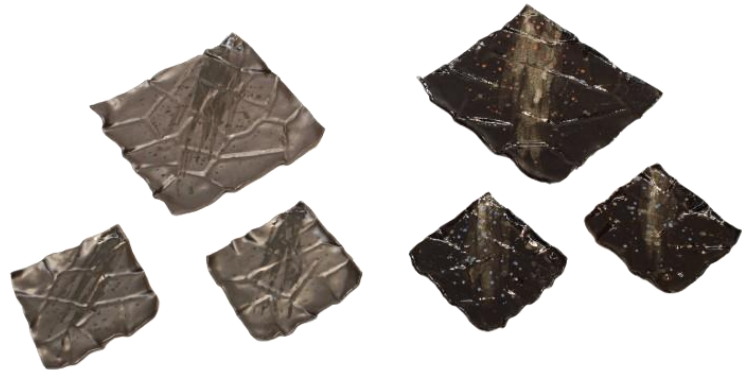


芸術文化協会会長賞

「小鳥の樂園」川嶋 浩一



地域社会振興会賞
「花入」堀川 峰男



岡田文化財団賞
「宇宙」服部 恭子

審査評

出品点数が少ないのがさみしく感じましたが、その中でも多様な素材が用いられて豊かな表現の世界が前面に出されていて見る者に楽しさが伝わってきます。

彫刻工芸に参加制作される人が増えてくることを期待します。

市長賞の「あのころのたからもの」は、細いツルを使いながらも大胆なフォルムを構成している。ツルの隙間をうまく利用して中の球体をおぼろげに可視化している表現はとても好感が持てた。作者の制作を通して表現したいことが伝わる作品でした。

議長賞の「能面 小癡見」は、目力もあり見る者に身を正すように諭している秀作です。

教育長賞の「潤いするとき」は、青い水面とシマ馬の表現が非常にマッチした作品です。

芸術文化協会会長賞の「小鳥の楽園」は、小鳥たちが寄りそって安心している楽しさが見れる。

地域社会振興会賞の「花入」は、形と表面に施された文様が面白い作品です。

岡田文化財団賞の「宇宙」は、黒い釉薬を宇宙空間に見立て、色釉で星を表現したのが面白い作品です。

彫刻・工芸部門審査員 上原 正廣 熊本 栄司

※今回の彫刻・工芸部門は、諸般の事情により2名の審査員での公開審査となりました。

○特別出展



「愛うるはし ヤマトタケルノミコトとオトタチバナヒメ」

制作 令和4（2022）年

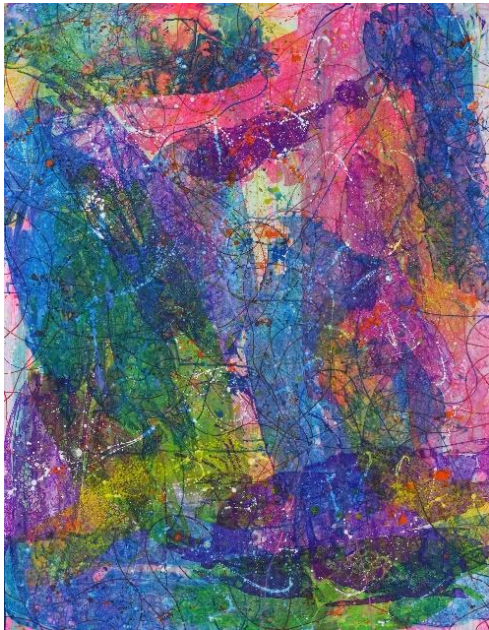
特別協力 公益財団法人中村晋也美術館

本格的なモニュメントを制作する前には、ある程度のイメージが見える形に表したエスキース（試作）を作る場合があります。最終的な大きさが等身大よりも大きくなる予定の場合などは特にそうです。大きな芯棒や大量の粘土で何度もやり直すのはとても大変なことだからです。この小品は、亀山駅前に建立した『日本武尊 弟橘媛 愛うるはし』を制作する前に、試行錯誤を重ねた作品です。後のモニュメントよりもちょっと可愛くなってしまいました。二人を愛でる気持ちがこぼれてしまったのでしょうか？

（提供 公益財団法人中村晋也美術館）

○いが・こうか・かめやま 美術展交流作品

(伊賀市)



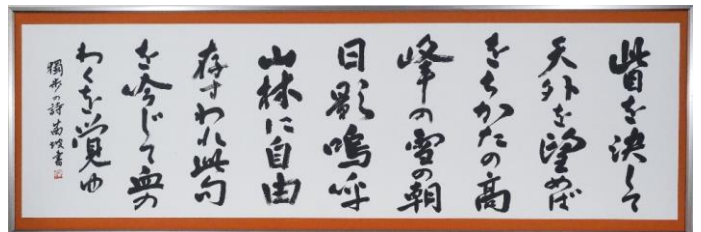
市展「いが」賞 絵画部門
「煩惱」 筒井 伸二



市展「いが」賞 写真部門
「魔法のボール」 川島 齊



市展「いが」賞 彫塑工芸部門
「上人坐像」 前川 良雄



市展「いが」賞 書部門
「国木田独歩の詩」 中島 茜坡

(甲賀市)



甲賀市展賞 平面部門
「静物」 太田 克美



甲賀市展賞 写真部門
「厳肅な朝」 服部 眞美子



甲賀市展賞 工芸・立体部門
「火火花瓶」 朝見 杏映



甲賀市展賞 書部門
「漢詩句」 西谷 萌

○出展作品一覧

【絵画部門】

(敬称略)

入賞・選名	作者名	題名	住所
市長賞	森田 学	牡丹に蝶、長谷寺の晩春	みどり町
議長賞	近澤 さとみ	夜明けの星	関町萩原
教育長賞	小池 勇	秋・燃ゆる	本町三丁目
芸術文化協会会長賞	田崎 諄	亀山の暮	みどり町
地域社会振興会賞	中西 勝	岩礁	野村一丁目
岡田文化財団賞	椎原 楓	もなか	みずほ台
入選	原 君子	共に生きる	田村町
入選	浦野 貴志子	晩秋の三千院	太森町
入選	片岡 弘子	思い出の花	関町泉ヶ丘
入選	林 正夫	戦禍 (IV)	アイリス町
入選	葛西 徹	流れに向かって Part4	長明寺町
入選	廣田 武司	御在所	みずほ台
入選	曾和 亜紀	想	布気町
入選	中根 那乃	輝樹	天神二丁目
入選	石谷 長生	青い池	東御幸町
入選	松尾 徳昌	戦争反対 (乱開発も)	下庄町
入選	草川 孝子	躍	布気町
入選	渥美 明日香	白のまなざし	三寺町
入選	今田 雪峰	また食べたいなあ	鈴鹿市
入選	池田 千恵子	エスケープ	安知本町
入選	奥田 喜久子	朱のきらめき	松阪市
入選	羽野 雅彦	山想う何思う	みどり町
入選	水谷 和則	錦秋・八角鐘楼	関町小野
入選	松田 純一	南天	野村三丁目
入選	伊藤 和美	入江	本町二丁目
入選	村田 円莉子	疾風怒涛	両尾町
入選	斎藤 政子	薔薇園	鈴鹿市
入選	所 啓子	石仏	上野町
入選	森 有理子	点在する現在	東御幸町
入選	那須 幸生	花のある町	野村三丁目
入選	原 さだ代	時がたち	田村町
審査員	山崎 和夫	紫陽花の喫茶店	鈴鹿市
審査員	岡林 まち子	輝	津市
審査員	小林 正英	深遠の風光	四日市市
運営委員	中田 勝彦	花	南野町

【写真部門】

(敬称略)

入賞・選名	作者名	題名	住所
市長賞	西村 幸子	ひととき	井田川町
議長賞	滝本 麻須美	水芭蕉の咲くころ	関町坂下
教育長賞	山川 充子	激闘	鈴鹿市
芸術文化協会会長賞	伊藤 隆彦	春を待つ	鈴鹿市
地域社会振興会賞	井上 英勝	楽しい一日の始まり	太岡寺町
岡田文化財団賞	河原田 誠教	出番間近	津市
入選	滝本 洋一	餅まき	関町坂下
入選	佐野 昌之	日常	小川町
入選	笠井 俊夫	光景	関町坂下
入選	小林 努	和気の継筆	北町
入選	豊田 典子	朝霧と大豆畑	菅内町
入選	豊田 康文	さいはて、わっかない	菅内町
入選	伊藤 隆	ファミリー	菅内町
入選	藤村 和昌	海岸沿線をゆく	みずほ台
入選	山崎 一博	弾けるいのち	加太神武
入選	森崎 進	アロハスマイル	加太向井
入選	安藤 明	漁村の営み	椿世町
入選	池山 康夫	道との遭遇	津市
無鑑査	井上 アヤ子	水温む頃	みどり町
無鑑査	村田 芳男	希望の光	関町新所
審査員	木村 一成	遠雷と月の出	岐阜県可児市
審査員	内山 修	少女	津市
審査員	小松 稔	満開の投網	鈴鹿市
運営委員	平野 武	路地	椿世町

【書部門】

(敬称略)

入賞・選名	作者名	題名	住所
市長賞	濱口 莉子	李世民詩	川合町
議長賞	田中 かおる	春風の	辺法寺町
教育長賞	薦 皓月	劉禹錫詩	鈴鹿市
芸術文化協会会長賞	山本 青蘭	島崎藤村の詩	みどり町
地域社会振興会賞	黒宮 千聖	杜甫詩	北山町
岡田文化財団賞	森本 春香	杜甫詩	津市
入選	小坂 一	鏡花水月	布気町
入選	櫻井 花筵	空海句	井尻町
入選	岡田 静嶺	王湾詩 次北固山下	津市

入選	岩城 菱太	臨 嘉量銘	野村一丁目
入選	高橋 慶水	柳宗元詩	みどり町
入選	菅生 洋子	正岡子規の歌	アイリス町
入選	大杉 花芳	舒位詩	布気町
入選	北川 美絵	島崎藤村の詩	鈴鹿市
入選	櫻井 育子	あひみでの	本町二丁目
入選	安藤 佑珠	与謝野晶子の文	椿世町
入選	篠原 蕙風	杜甫の詩	下庄町
入選	豊田 愛華	乳母車	阿野田町
入選	稲垣 遼	摹 徐三庚	鈴鹿市
入選	松井 蒼空	臨 呉昌碩	川崎町
入選	若林 奏汰	臨 蜀素帖	東御幸町
入選	清水 遊舟	蘇軾詩 望雲樓	東町一丁目
無鑑査	畑中 花影	趙翼詩	椿世町
審査員	樋口 鈴峰	天法道	鈴鹿市
審査員	伊藤 南邨	于武陵詩勸酒	桑名市
審査員	永平 巳旺子	芭蕉の句 春	員弁郡
運営委員	安藤 清舟	王操句	みどり町

【彫刻・工芸部門】

(敬称略)

入賞・選名	作者名	題名	住所
市長賞	梅村 美奈子	あのころのたからもの	鈴鹿市
議長賞	高知 利壽	能面 小癒見	みずほ台
教育長賞	廣森 ちな子	潤いのとき	白木町
芸術文化協会会長賞	川嶋 浩一	小鳥の樂園	関町小野
地域社会振興会賞	堀川 峰男	花入	鈴鹿市
岡田文化財団賞	服部 恭子	宇宙	若山町
入選	黒田 智子	幸鳥に福牡丹	和田町
入選	貝原 靖英	湯のみ(鈴鹿7マウンテン)	みずほ台
入選	小坂 洋子	円か	布気町
入選	近藤 義則	ルリの輝き	みどり町
入選	水谷 敏子	喜寿・ばらの饗宴	関町小野
入選	石地 貴之	竹ドーム	関ヶ丘
無鑑査	岡本 利見	円	和田町
無鑑査	山田 風雅	南無	天神二丁目
審査員	上原 正廣	氷を解かさないうで	鈴鹿市
審査員	熊本 栄司	炭化花器	四日市市
運営委員	後藤 正博	手描き釉壺	東御幸町

伊賀市

(敬称略)

賞名	作者名	題名
市展「いが」賞 絵画部門	筒井 伸二	煩惱
市展「いが」賞 彫塑工芸部門	前川 良雄	上人坐像
市展「いが」賞 書部門	中島 茜坡	国木田独歩の詩
市展「いが」賞 写真部門	川島 齊	魔法のボール

甲賀市

(敬称略)

賞名	作者名	題名
甲賀市展賞 平面部門	太田 克美	静物
甲賀市展賞 工芸・立体部門	朝見 杏映	火火花瓶
甲賀市展賞 書部門	西谷 萌	漢詩句
甲賀市展賞 写真部門	服部 眞美子	厳肅な朝

○第 21 回亀山市美術展について

≪ 出展状況 ≫

部 門	出品数	展示作品数						合計
		入選	無鑑査	審査員	特別出展	美術展 交流	運営委員	
絵 画	31	31	0	3	0	2	1	37
写 真	18	18	2	3	0	2	1	26
書	22	22	1	3	0	2	1	29
彫刻・工芸	12	12	2	2	1	2	1	20
合 計	83	83	5	11	1	8	4	112

※ 第 2 回亀山市美術展以降、同部門で市長賞を 2 回受賞された方は 5 年間無鑑査となります。

※ 彫刻・工芸部門には、第 9 回亀山市美術展より陶芸を含みます。

※ 入選者数に、入賞者数（6 賞）を含みます。

≪ 審査員及び運営委員 ≫

審 査 員

【 絵 画 部 門 】 山崎和夫・岡林まち子・小林正英
 【 写 真 部 門 】 木村一成・内山 修・小松 稔
 【 書 部 門 】 樋口鈴峰・伊藤南邨・永平巳旺子
 【彫刻・工芸部門】 恒岡光興・上原正廣・熊本栄司

運 営 委 員

【 絵 画 部 門 】 中田勝彦
 【 写 真 部 門 】 平野 武
 【 書 部 門 】 安藤清舟
 【彫刻・工芸部門】 後藤正博

※目録氏名は敬称を略しました。

